

風水害に備えて、ハザードマップを確認しましょう

そもそもハザードマップとは？

災害が起きた際に被害が想定されるエリアや避難する場所を示した地図のことです。狛江市には、洪水ハザードマップ2種類（多摩川氾濫版・野川氾濫版）、内水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ（※東野川4丁目のみ）の計4種類のハザードマップがあります。

自分が住んでいるエリアにどんな危険があるか知っておきましょう！

こんなポイントに注意して確認しよう！

1. 自宅が浸水想定区域内
2. 自宅が※家屋倒壊等氾濫想定区域内
3. 自宅が最大浸水深を上回る階がない



※ 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)

氾濫流の直撃により、木造家屋の倒壊等が想定される区域



※ 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸浸食)

氾濫流による河川の浸食を受け木造・非木造に関わらず建物の倒壊・流出の危険がある区域



該当なし

- ▶ 避難の必要はありません。
- 1のみ該当
- ▶ 垂直避難をしましょう。
- 2もしくは3に該当
- ▶ 立ち退き避難が必要です。



垂直避難と立ち退き避難とは？

垂直避難▶ 自宅の上階への避難や、すでに浸水が始まっている場合に自宅の上階に留まること

立ち退き避難▶ 自宅から離れ親戚、知人宅や避難所など安全な場所へ避難すること

違いを理解して、いざという時に自分はどちらの避難をしなければならないのかを確認し、それぞれに合った準備をしておくことが必要です！



東京マイ・タイムラインを使って準備しよう！

マイ・タイムラインとは台風などの風水害時に慌てることがないように、避難に備えた行動を一人ひとりが決めておくものです。

どんなタイミングで避難の準備を始めるのか、実際に避難するのはどのタイミングか、どんな物を持ち出せば良いのかなど、災害が起こる前に家族や近所の方と話し合って適切な行動を決めておきましょう！

東京マイ・タイムラインについてはこちら▶



WEB版ハザードマップも活用しよう！

狛江市ではインターネット上で見ることができるハザードマップも作成しています。WEB版ハザードマップは紙のマップよりも詳細な浸水深を確認することができます。またWEB版だからこそ可能な洪水・内水合成版のマップを確認することもできます。（重複箇所については最大浸水深を表示しています。）ご自宅周辺の浸水深をチェックしてみましょう！

WEB版ハザードマップはこちら▶



ペットの防災について

避難所のペット専用スペース

狛江市では同行避難という考え方のもと避難所にペット専用スペースを設けています。

同行避難とは、避難所まで一緒に避難することです。飼い主の方と同じ部屋で生活することはできません。

避難場所の候補を増やしましょう

避難所は多くの人が集まるため、快適な環境とは言えません。ペットも慣れない環境で過度なストレスを感じたり、体調を崩すことがあります。大切なペットのために避難所以外の避難先についても検討しましょう。

例) ペットホテルやペット可の宿泊施設
親戚・知人・友人宅



避難所でトラブルにならないために…。

- ・**健康管理**▶ 狂犬病予防注射（犬）は必須です。また、ダニやノミについても問題となります。健康で清潔な状態を保っておきましょう。
- ・**しつけ**▶ 鳴き声等により、騒音トラブルとならないよう、基本的なしつけをしておきましょう。
- ・**身元表示**▶ 万が一逃げ出してしまった際のためにも、マイクロチップの登録や迷子札などを準備しておきましょう。



災害時関連のガイドラインやパンフレット

環境省ではペットの災害対策について、考え方や事前の準備を踏まえたガイドラインを作成していますので、確認しましょう！

環境省HPはこちら▶

